

## ヒメカサアブラムシ

春にトドマツの葉表に黄色の斑点ができ、葉裏に黒点状のものまたは小さな白い綿状のものが付着する。または、春にアカエゾマツやエゾマツなどトウヒ類の枝に高さ20mmほどの赤から緑の松ぼっくりに似たコブを作る。古いコブは茶色で穴が開く。

トドマツでは苗畑でときに多発し、木を弱らせる。トウヒ類では多発した記録はない。虫こぶは少なくともよく目立つが、木の成長に影響はない。



1. トドマツ上の雌成虫.



2. アカエゾマツ上の古い虫えい.

【学名】 *Aphrastasia pectinatae*

【分類】 カメムシ目 (Hemiptera) , カサアブラムシ科 (Adelgidae)

### 【生態】

宿主：エゾマツ，アカエゾマツ，トウヒ類，トドマツ。

トドマツの葉裏で孵化後まもない幼虫で越冬する。翌春に吸汁加害し、成虫になる。成虫の一部は翅（はね）があり、トウヒ類に移動し、産卵する。一方、翅のない成虫はトドマツに残って繁殖を続ける。

トウヒ類では早春、孵化幼虫が新芽に寄生し、新芽を虫えいに変形させる。虫えい（虫こぶ）の中でアブラムシが繁殖する。晩春から初夏に有翅成虫が虫えいから脱出し、トドマツに移動産卵する。

### 【被害と防除】

トドマツ苗木は加害により衰弱するが、枯れることはないといわれている。

苗畑では予防のため、周囲にトドマツやトウヒ類を植えない方がよい。

### 【文献】

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真) .

1994. 尾崎研一. その他のカサアブラムシ類. 小林富士雄, 竹谷昭彦編集, 森林昆虫, 総論・各論: 475-477. 養賢堂, 東京.

(形態, 生態, 防除)

北海道立林業試験場・緑化樹センター

ヒメカサアブラムシ abura/himekasa/  
kaisetv.htm

「文章」原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/16.

musi.JPG, kobu.JPG

「写真1～2」鈴木重孝, 北海道立林業試験場, 19??.